

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名 放射第21号線	事業区分 街路	事業主体 東京都
起終点 自：東京都港区芝三丁目 至：東京都港区三田三丁目	延長 0.5 km	
事業概要：放射第21号線は、千代田区日比谷公園から港区芝五丁目に至る計画延長3.8kmの放射方向の骨格幹線道路であり、都心へ集中する交通を分散、誘導し、道路交通の円滑化を図るものである。 本事業は幅員19mの現道を30mに拡幅し、当該区間を含む約1.0kmの4車線道路として整備するものである。		
S56年度事業化	S21年度都市計画決定	S56年度用地着手
H3年度工事着手		
全体事業費	約578億円	事業進捗率 99%
計画交通量	48,000台/日	供用済延長 0.3km
費用便益分析結果	総費用：(残事業)/(事業全体) 11/858億円 (事業費：8.0/855.1億円) (維持管理費：2.8/2.8億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 1090/1090億円 (走り時間短縮便益：1057.0/1057.0億円) (走行費用減少便益：28.3/28.3億円) (交通事故減少便益：4.4/4.4億円)
	B/C (事業全体) 1.3	基準年 平成15年度
	(残事業) 100.9	
事業の効果等 ・都市の再生（中心市街地内で行う事業） ・無電柱化による美しい街並みの形成（電線類地中化計画に位置づけ有り） 他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ・「区部における都市計画道路の第二次事業化計画」(H3~15)において、放射第21号線は、優先的に整備すべき路線に選定されている。 ・「東京構想2000」(H12.12策定)において、放射第21号線は、渋滞解消と防災軸や災害時の輸送ネットワークとして重要な路線であり、着実な整備が求められている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成12年の地下鉄大江戸線開通に伴い赤羽橋駅が本路線に近接して設置され、沿道の土地利用促進のポテンシャルが高まっている。 ・本事業に合わせて、沿道開発が進み商店街が形成されている。また、平成12年3月には沿道の新たな顔として慶應大学東門が完成している。 ・本路線と旧海岸通りを結ぶ札の辻橋の架替事業が進められている。(平成16年度完成予定)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地買収が難航し、工事着手までに時間を要したものの、現在までに約0.3kmを部分供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度末までに用地買収を終了し、平成16年度末に交通開放の予定である。		
施設の構造や工法の変更等 本事業区間は街築工事が主体であり、事業手法、施設規模等の見直しの可能性はない。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。